

会 議 録

会 議 名	小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 (平成 29 年度第 3 回)		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成 3 0 年 2 月 2 6 日 (月) 午前 1 0 時から 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	第二庁舎 8 階 801 会議室		
出 席 委 員	亀山 章委員長 小野良平委員 椎名豊勝委員 伊東 孝委員		
欠 席 委 員			
出 席 職 員	平野環境政策課長 片上道路管理係長 内田生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事 (学芸員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	1 人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 議 題</p> <p>(1) サクラの生育状況調査について</p> <p>(2) 平成 2 9 年度名勝小金井 (サクラ) の整備計画について</p> <p>(3) 今後の事業計画について</p> <p>(4) その他</p> <p>2 次回以降の会議日程</p> <p>平成 3 0 年度第 1 回</p> <p>日 時 平成 3 0 年 4 月 6 日 (金) 午前 1 0 時～</p> <p>場 所 サクラ補植区間現地</p> <p>内 容 サクラの補植、生育状況視察</p> <p>第 2 回 平成 3 0 年 1 0 月 1 2 日 (金) 午前 1 0 時～</p> <p>第 3 回 平成 3 1 年 2 月 1 5 日 (金) 午前 1 0 時～</p>		

会 議 結 果

内田生涯学習課長 12月には、サクラの生育調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

今年は市も60周年を迎えます。小金井サクラに関しましても、周年事業の一環としてPRに努めていく事業を考えております。

1 議 題

(1) サクラの生育状況調査について

高木主事(学芸員) この調査は、植樹されたサクラの現状を把握するために専門家の先生方のご協力を得て行いました

調査対象は、モデル区間事業以降に植樹された苗木としております。最も年数が経過したものは、平成22年度に植樹された苗木です。

直近では、昨年2月に植樹したものとなり、7年分の事業を調査いたしました。その調査結果が、お手元の資料の資料1となります。

この調査する項目は、サクラの高さである樹高、幹周り、最後に枝張り、この枝張りにつきましては、幹の中心から四方向への長さとしております。ですので、東西南北という形で、それぞれ測定しております。

資料1は、調査した元データとなります。

もう一つ資料2があります。植樹当時のサクラのデータがございましたので、その植樹した当時と調査した段階での比較をしたものとなっております。この植樹した当時のデータは、苗木を育成しております市民団体から提供していただいております。

資料2のデータを見るにあたっての注意点は、この植樹当時のデータで、例えば資料2の番号でいうとN-16以下、例えば幹周りが植樹時だと、15cmというものがずらりと並ぶわけですが、実際はおそらく、木1本1本の個体差があるはずですが、これはおそらく提供時における仕様の関係で、一律このような形の数値が残っているものです。場合によっては、実際には20cmのものもあるかもしれませんが、そういった形で実態値ではないことは気をつけなければいけません。同様に高さにつきましても、植樹時、350cmが統一して書かれておりますが、本来は個体差があったはずですが、このような形で当時のデータとしては残っています。

また、実際にこちらは、育成したものと実際に植えた場所を照らし合わせておりません。ですので、育成時がNo.1であったものがどこに植えられたかは分かりません。そういう当時の状況の中、契約における仕様の中で、幹周りは15cm、高さは350cmという数値がつけられております。

そのため、資料2につきましては、今回の調査時から分かる成長度合いの傾向を見る上での参考値ということが言えます。

このほかでは、調査の過程で様々なご指摘をいただいております。例えば桜の成長を阻害する周囲の雑木の対応、また、ヒコバエ、株立ちなどの剪定作業、支柱の一部撤去については、東京都に連絡したところでご

ざいます。

今後の調査といたしましては、まず今回は現在のサクラの生育状況を数値化することがとても大切なことですので、これをもって、今後の調査や整備事業に役立てていきたいと考えております。

定期的に、こちらの委員会の中で、どのように継続していけばよいか等、ご意見をいただきたいと思っております。

亀山委員長

これは、右上に資料1-1とある資料のデータをそのまま資料2に写して、植栽時の幹回りと高さを入力し、成長量を見てみたものですね。

高木主事(学芸員)

枝張りのデータは入れてないですが、平成29年12月の資料に基づいて今後定期的にデータを取っていくことで成長度合いをより詳しく見ていくという考えです。

伊東委員

幹周りは比較していませんね。調査の時には測定しましたが。

高木主事(学芸員)

～資料の補足説明～

亀山委員長

植栽年月が平成25年度のものでまだデータが無いわけですね。

椎名委員

資料1からの数値ですが、このデータは、一般的にいうと畑のデータですね。15cm以上で売れるものという、商売人としての分類上の数値を入れたにすぎないです。今回実施した数値のみが事実であり、必要なものです。この数値は使わない方が良いでしょう。

書くとすれば、実生か接ぎ木かを書いてはどうですか。今後はみな接ぎ木になると思います。前のものは実生だと思うのです。

実生ならば、どこから種を取ったかが明確になっています。吉野とか北上とか。「北上の実生」などと明確に書いておいた方がいいですね。それはなぜかという、将来、開花が非常に遅いものがあるのです。

今後ヤマザクラということになると、分類学が進んだので、昔と状況が異なります。今の状況では、ヤマザクラについては、きちんと記録しておく必要がある。昔は、50年くらい前ですかね、ヤマザクラと一口に言っても、カスミザクラ、オオヤマザクラも皆一緒だったのです。今はそういう状況ではないので、非常に開花が遅いとなると、例えばカスミザクラという可能性があるのです。

小さい時の葉で判断したという人もいますが、それが完全にできる人はいないと思います。幼い時の苗の葉での識別で30%を除いたという話を前に聞いたことがあるのですが、それは識別できたものですね。残りのおそらく70%には識別できないものが入っている可能性があります。

何が大事かという、実生のもの。接ぎ木でやっているものなら絶対大丈夫だと思います。例えば小金井サクラの中の一番いいものの接ぎ穂をとって、接ぎ木をしてやっているのならば間違いない。実生で行ったものが今100本くらいあるのですかね。それが今後成木になった時、出生由来を明確にしておいた方がいいですね。そちらの方が項目としては、一番大切ですね。

今話を聞くと吉野の実生なのかは本当のところ分からないようですよね。そうすると、分からなければ、実生と接ぎ木というわけ方しか

ないですね。だから実生のものについては、将来的に何か問題が生じる可能性ありと台帳の中に記載しておけばよろしいかと思います。

高木主事 (学芸員)

桜の会からもらったデータの中にはこの情報はあります。

椎名委員

一番いいのは、吉野や桜川、北上とか、6箇所から7箇所から種を選んでいるのですよね。それを入れた方がいいですよ。

亀山委員長

それ、一応ね、データ貰っているのです。

椎名委員

私も貰いました。今話を聞いていると、出荷当時の記録とそれを植える業者は全く別。同じ人が植えたなら分かると思いますが。

亀山委員長

桜の会は、1本1本管理しているのですよね。苗木はね。

一応きちんと管理しているはずなのです。植木屋さんまかせではないです。彼らがやっています。

椎名委員

木についていたプレートにそれが記載されていれば大丈夫かもしれませんが。その記載があれば、吉野の実生苗であることはわかると思うのです。

なぜこのようなことをいうのかと、私も、例えば小金井公園の実生苗は、小金井公園のサクラについては、私も携わりましたが、ヤマザクラだけではないのです。たくさんあります。交雑していますから。小金井公園のものは、ヤマザクラでない可能性が実生苗だと高いです。それから、小金井ザクラの部分についても、ヤマザクラが60%くらいですよ。他は40%あり、交雑しますから、それも怪しいです。吉野の場合は、下の千本くらいは怪しいですが、奥の千本はきっと大丈夫かと思えます。北上とか桜川について、私は事情を知りません。その周囲に、ソメイヨシノなどがたくさん植わっているかどうかということも問題になります。

小金井公園のことはおいておくとして、分かるなら元データとして、由来を明記しておくことは意味があると思います。15cmなどの数値はあまり意味が無いと私は思います。

亀山委員長

厳密には意味がないのですが、おおよその傾向として、出発点がここにあって、今の成長を比べてみるのにはいいと思うのです。

今回初めてだから、出発時点からの傾向としてはみられるものです。2年後、3年後に今回の数値と比較していけば、データとして使えると思います。今回は、初めてだから大きな意味で、傾向を知る意味では見られると思います。

高木主事 (学芸員)

資料の見方ですが、S12をご覧くださいと、植栽時は15cm、現在は53cmに幹周りは成長しています。幹周りの成長度は、53から15を差し引いた数値です。この植栽年は確認いたしますが、仮に8年経過しているとすると、1年あたりの成長度は4.8cmとなります。

同様に、樹高につきましても、植栽時350cmだったものが現在680cm、成長度は330cm、1年あたりは41cm伸びたという見方です。

このような形で桜の会からいただいた数値を参考値として、現状どのような傾向が読み取れるかというところで、このような資料を作った次第です。ただ今ご指摘がありましたように、育てた苗が現地に何番で植

えられたかということについては、今後、履歴を東京都と協力して、作成していくよう調整しているところです。

椎名委員 本当なら、竣工図を作った時に、どこに位置しているか。そこに植えたものの幹周りを測っておけば、正確なデータになります。

亀山委員長 植え終わったときにですね。樹高と胸高周囲を測っておく。これやっていたかとよろしいかと思えます。

苗の方は、サクラの会が作成したものだから、大丈夫ですよ。

椎名委員 苗自体はいいと思えます。先日、畑も見せていただきました。よく管理されています。

亀山委員長 あと、この資料の表を作りなおしていただかないと。

高木主事(学芸員) 今後活用していくためには、しっかり精査し直します。

亀山委員長 後からお配りした資料を見ていただけますか。

いただいた資料を見ていたら、年によって成長量の違いがあります。その原因が気になりました。降水量の資料を作ってみました。

樹高の成長が良かった上位5位の樹高とDBH、胸高周囲の成長量を5本にとって平均値を出して比較したものです。樹高成長量平均値が2011、12、13年2月が58.3cm、53.9cm、40.6cmであるのと比較し、2015年、16、17年2月101.8cm、80.1cm、183cmと値が大きく違ってきています。結構ばらつきがあるのです。

2011、12、13年を比較していると、なんとなく分かるのです。サクラは植えたときは元気がないのですが、段々元気になってくるものなので、その傾向があるかと思うわけです。ところが、2015、16、17年の数値はとても大きいのです。

この原因がわからないので、降水量の影響かと思ひ、資料をつけて見ました。影響がありそうなのは5、6、7、8月頃だと思ひました。この時期の降水量が少ない年はいつ頃なのかと見てみますと、2013年の5月が少ないです。この影響があるのかと思ひました。水の管理が悪かったのかと思ひ、桜の会に水はどうしているのかを聞いてみました。「柵の中に入れないので水はあげられない。」とおっしゃっていました。

椎名委員 そうでしょうか。このような状態で水を管理するのは難しいでしょうね。その気候にあわせたものしかないですね。

亀山委員長 5月には56はかなり水が少なかったので、成長期のときには欲しかったらうにと思ひました。桜の会の方に話すと、「柵の中に入らせてもらえれば、水をやることができたのに」とおっしゃっていました。

それができないものではないでしょうか。ある期間だけでも。

椎名委員 若い木の時には、本当はそうしてあげられればよいと思ひます。

水が通っているのでしたら、散水栓があればできるのでしょうか。

亀山委員長 そのようなことをしなくても、下に川があるのですから、そこにバケツを放り込んで水をとってきてもいいわけですよ。

椎名委員 天候あつての樹木ですから。私も他のところでいろいろなサクラを植えて、もう8年くらいになりますが、毎年ばらつきがありますよ。品種によってもばらつきがあります。すごく成長のいいものと、そうでな

いものと。でも、すごく成長のいいものは、風に弱かったりします。あまり大きくなりすぎますと、上が倒れやすくなっていくことも事実です。平均1cmくらいしか伸びない品種もあり、それは固く育って、将来的に見ると、管理に手がかからないという利点もあります。でも、幹の成長はともかく、枝の成長はきていますね。真ん中に植えたことは、功を奏していますね。計画の上では最善の方法だったと思いますね。

183cm、100cm。幹周りはそうでもなくても、樹高の成長、枝の伸びがいいということは、景観的にはそのほうがいいですね。

ヤマザクラは、樹冠が大きく開いて、ヤマザクラの立派な木というのは、こちらの方が大事かと思います。

2017年5月の降水量は49ですから少ないですね。

植えて3年間はそのくらいの養生をすることが、できるならやられた方がよろしいでしょうね。3年すると、根が張って、その後は自力で育っていきます。

亀山委員長 桜の会の方達は、柵の中に入れてくれれば、いくらでも水をやれるのにとおっしゃっているのです。

椎名委員 先日、生育調査を実施した際に思ったのですが、やはり30mに1箇所くらい入口を作っておくと良いかと思います。それに鍵をつけて、桜の会の方に鍵を渡しておけばよろしいかと思います。水遣りだけでなく、他の管理作業も必要ですので。葛切りも必要ですよ。

亀山委員長 そうですね。特に3年間で大事なものは、葛の蔓。

椎名委員 葛切りがいい理由になりますね。

1日に1mくらい伸びますからね。早いうちにすれば、簡単です。

亀山委員長 市役所がやれるのならいいのですが、やれないなら、桜の会の方がやれるようにすればよいのではないのでしょうか。

椎名委員 予算さえあれば出来ますね。距離が長いから経費がかかりますよね。
内田生涯学習課長 柵の中は東京都の管理下ですから。東京都から許可がおりないと柵の中に入れてはいけません。

亀山委員長 小金井市さんが東京都に対してある期間だけ入らせていただくようお願いするなどすればいいのではないですか。

椎名委員 役所は責任の分担が明確になっているのですよね。

東京都は出来ないと思います。教育庁は。そういう点では、よく話し合ってください。

亀山委員長 人の関与の問題かと、このデータを見ると、そのように感じますね。

椎名委員 ある程度大きくなると、樹高は大きくなりませんから。今度は横巾ですね。でも、樹高平均がこの数字183cmは素晴らしいですね。

東京都の敷地の中に植えなければならないわけですから。生き物にとっては、小金井市も東京都も関係ないですから。

亀山委員長 東京都の土地だからとは言わないで、小金井市はこの桜をなんとかしたいのだから、都に話をさせていただいて、入れるようにしていただいて、管理ができるようにしてもらえように、東京都と話し合っていたきたいです。

椎名委員 今の柵をうまく切って、できないですかね。

亀山委員長 これも課題として考えてください。

伊東委員 一部切るだけでは意味がないですから。

亀山委員長 ご意見いただきましたので、よろしくお願いします。

伊東委員 生育状況について、教えて欲しいのですが。
桜は、最初の3年くらいで高さが年平均1mくらいのびて、あとの3年間は伸びないものなのですか。

亀山委員長 逆なのです。基本的に樹木は、植えてすぐは根が伸びないのです。植え傷みというのですが。植えてすぐは成長が悪いのです。段々よくなる。例えば2011、12、13年の3年間。単純に年間成長量が段々大きくなる、と考えられるのです。下の3年間の数値を見なければそう考えられるのです。でも、このように年間成長量が大きい年もあることが分かります、人の影響がどこかに出てくるという感じはします。

(2) 平成29年度名勝小金井（サクラ）の整備計画について

高木主事（学芸員） 補植計画の図面をご覧いただきながら。前回の本委員会の後に住民対象の作業説明会を行いました。東京都、小金井市から説明を行いました。名勝小金井サクラの補植計画も説明しております。

まずこれが1点

今年度が、新たな整備区間の第1期となります。

追加資料で示すところだと、太枠線で示したところが対象区間となります。

苗木に影響を及ぼす雑木の処理についてですが、本委員会で4月に現地視察した際に、伐採を要するご指摘をいただいております。このご意見をもとに、今年1月15日から東京都水道局が対象樹木の伐採を始められておまして、これは既に完了しております。そして、ヤマザクラの苗木を植樹する、一番重要なところですが、これは、3月中旬頃を予定しています。小金井市は東京都教育庁に苗木を提供し、その後東京都教育庁によって、上水堤における植樹作業が行われるはこびとなります。

図面に戻りますと、主に小金井橋周辺が一つのグループ、もう一つのグループが右下の新小金井橋に一群があります。それ以外ですと、現在、植樹しやすい場所を協議した結果、今年度は15本を植えることとなりました。第1期は、3月中旬に植樹する計画です。

亀山委員長 15本を3月中旬ということですが、もっと早くならないですか。

椎名委員 もっと心配なのは、東京は、3月中旬から雨が降ることが多いので、工期が遅れることが多いです。

伊東委員 いつ頃がよろしいのですか。

亀山委員長 2月から3月半ばまでには植えないと。根がのびて水を吸い上げるときです。もう少し早くならないでしょうか。せっかく作った苗木を枯らすようなことはないですよ。

椎名委員 この前見た植木畑から持ってくるのですか。掘ってあるのですか。

山崎文化財係長 2月28日に掘ることになっています。
亀山委員長 掘ってすぐ植えてしまえばよいのですが。
枯れたら、業者の責任ではないです。小金井市と東京都の責任ですよ。
なんとか頑張ってください。こればかりは、これでいいですよねとはいえないですね。

高木主事(学芸員) 1日でも早くするようにお願いしてみます。
亀山委員長 よろしくお願ひします。
伊東委員 一つよろしいですか。補植する場所ですが、四角で囲ってあるところ
となないところの差はなんですか。

高木主事(学芸員) 四角で囲ってあるところは、右下に凡例があります。第一期、今年度
ですね、植える場所を囲ってあります。囲って無い部分は、来年度又は
再来年度に植えていく候補です。

伊東委員 黒白の区別は何ですか。
高木主事(学芸員) 北側と南側の違いです。
亀山委員長 邪魔しているケヤキは切ってしまったのですね。
高木主事(学芸員) はい。
亀山委員長 すぐ植えられますね。わかりました。ぜひよろしくお願ひします。

(3) 今後の事業計画について

高木主事(学芸員) 大きく2つございます。小金井橋から新小金井橋までの既存の古木の
桜の生育状況、また周囲の雑木の繁茂した状況、それぞれを考慮した上
で、次年度、平成30年度、平成31年度の2か年で段階的にヤマザクラ
の補植整備計画を行っていきます。これは3年計画ですので、今年植
えましたら、来年度、再来年度と続けていきます。また、桜は生き物で
るので、倒木や枯死によって、当初の補植予定本数の変動は想定をして
おります。そのため、今後も本委員会での現地視察を行っていただいた
上で、実態に即した整備案をその都度考えていきたいと考えておりま
す。まず一つこれが整備計画の考え方です。

もう一つは、現在すすめている整備事業のPRの強化を図っていくと
ころです。これについては、本委員会の中でも、PR不足について指摘
されているところ。まず、平成30年度4月以降の事業につきましては、
現在、予算の審議中ですので、確定ではありませんが、文化財とし
てのサクラ並木の歴史的背景だったり、現在すすめている整備事業の
PRをこれまで以上に強化していく考えです。

例をあげますと、今お手元にありますカラー刷りのチラシ、ゴールデ
ンウィークに開催されますウォーキングフェスタです。現在、ウォーキ
ングフェスタの中で小金井サクラを通るようなルート構成を主催者と
現在検討しているところ。また、あわせてガイドさんにも、小金井
サクラを解説していただくようにも現在調整しております。そういった
ところから、少しずつ、市内又は市外の方に小金井の歴史資産を伝えて
いくよう考えております。

また、冒頭課長も触れましたように、今年が小金井市の市制施行60

周年であり、その周年事業の一環で、小金井サクラを周知するような工夫を行っていく予定です。展示であったり、ガイドマップのようなものであったり、最近はやっていますクリアファイルであったり、お手にとりやすいものを考えております。

その他ですが、東京都水道局の計画の中には、説明板設置がうたわれております。今年の3月中旬に設置をする予定となっております。東京都の設置物ではありますが、小金井市の案を採用していただいております。以上、来年度事業の補植計画とPR強化についてお伝えいたしました。

亀山委員長
山崎文化財係長

配付物について補足してください。

パンフレット「川崎平右衛門と名勝小金井桜」は、名勝小金井桜の会の方から委員の皆様にお渡しするようお預かりしました。NPO法人小金井桜を復活する会主催の学芸大学大石学教授を講師に招いた市民対象連続講座「川崎平右衛門と名勝小金井桜」において、受講者に講義のテキストとして配られた資料になります。他のチラシ、機関誌は、同じ生涯学習部内で発行、配付されたものを配布させていただきました。

高木主事(学芸員)

今年度は、川崎平右衛門が亡くなって250年の節目の年でしたので、その関連事業が各地で行われました。その中で、NPO法人小金井桜を復活する会主催の講座が行われました。小金井市としても、市民団体と力を合わせて小金井サクラの復活については、進めていければと思っています。

小野委員

今の話より前の案件になりますが、図面についてですが。

高木主事(学芸員)

最新状況を東京都としては、来年度、予算措置をして作成していきたいと考えているようです。現状でどのような枝の張り方をしているかが分かるような図面だと考えています。

小野委員

この図面というのは、電子化されているのですか。GISの情報に入っているのですか。

高木主事(学芸員)

PDF又はデジタルソフトで製作しているものです。測量器具を使った上で、デジタル化したものかと推測されます。

小野委員

この図でいうと、グレーの部分は、既存のサクラですか。これは都の方で作られたのですか。

高木主事(学芸員)

はい。

小野委員

これは、枝張りの形まで入っているの、想像するに、GIS上で位置と大きさの情報が入っていて、それを図化したように思われるのですが、そういう情報は統合しておくべきです。要は、1本1本の個々の木が何であるか、それがどういうデータなのかをつきあわせないといけないのですが、それがGISの中で一つになっていけば一番簡単です。あれを見てこれを見てとすると段々分からなくなってきましたので。

椎名委員

これはかなり古いものなのですね。

高木主事(学芸員)

平成25年度のもので。

椎名委員

新しいじゃないですか。

高木主事 (学芸員) 新しいのですが、よくよく見ますと、この図ですと、下段の南側には、非常に綺麗なグレーの丸があつたりします。いびつな形でなく。これは、植樹しただけのデータであつて、これを更新していただかないと。平成26年度から関野橋、梶野橋間の整備を行っていますが、全く反映されていません。小野先生がおっしゃるGISの情報の件は、私はまだ確認しておりません。

小野委員 どれだけ成長したかを図の上でぱっと出すことができるので、絶対に便利です。他のインフラ関係では既に導入されているのですか。

伊東委員 重ね合わせが簡単にできますね。

高木主事 (学芸員) 伐採した前と後では、枝の伸び方の違いも見えてきますし。モデル区間、平成22年度以降にサクラを植えた箇所ですね、来年度、30年度にどういう形で成長しているか。今回数値で分かりましたので、図面でも見られる形にできるよう、東京都と調整していきます。

亀山委員長 小金井市がもともとの図面を作つて持っているのではないのですか。

高木主事 (学芸員) 小金井市は作っていないです。

椎名委員 東京都が作ったのですか。

高木主事 (学芸員) はい。樹木図ということで。

亀山委員長 樹木ではなくて、ベースになっている、土地のもとになっている地図は小金井市が持っているのではないのですか。

伊東委員 電子地図があるのではないのですか。各自治体で持っていると思つていましたが。

亀山委員長 あるのなら、樹木1本1本について、GPSで位置情報を出せば、すぐに地図ができるのですよね。地図化して、東西南北の測量はしましたから、そんなに難しくないと思います。

椎名委員 測量はやったと思うのですよね。東京都が。でも樹木の描き方を見ると、東京都が作成したのかどうか、にわかに信じがたくなりますね。

亀山委員長 水道局は自分の土地だから、この地図を作る必要はないですし、教育委員会も周辺の部分まで必要ないでしょうし、この地図を作成したのは小金井市しか考えられないかのように思えますが。

内田生涯学習課長 ただ、五日市街道をはさんで、小平市域も入っていますので。これについては、東京都に確認させていただきます。

亀山委員長 なにしる、小野先生がおっしゃったように、きちんと地図にしつかり落としていかないとということです。

椎名委員 さきほどの台帳と地図。今はこういうものはきちんとしておく必要があります。樹間などはドローンをあげて定点観測をされるという手段もありますよね。

亀山委員長 是非とも確認をしていただいて、できるだけ早めに地図にさせていただきたいということです。ありがとうございました。

椎名委員 これはもう最終的には、ずっと後の話ですが、柵の内側に全部収束するという感じになるのでしょうか。計画としては。それがやはり、五日市街道なりと共存して、小金井サクラを将来に成長させると。その一つの過渡期的なものと考えてもいいと思うのです。

前は玉川上水でしたからそうはいかないですが、前は水が主役でしたから、今の時代にサクラが主役になるには、そういう発想の転換をしていて、小金井サクラを後世の残すことを将来の目標に、念頭においた方がよいですね。息の長い話ですが。

伊東委員
亀山委員長

将来、コンクリートのところも直していただきたいですね。

土手が崩れて、コンクリートが落ちているのはみっともないですね。なんとか直して欲しいですね。

椎名委員
高木主事(学芸員)

水路の文化財指定はいつですか

平成15年です。

椎名委員
高木主事(学芸員)

文化財として指定されているのは、指定当時のものですか。

指定当時の現状ですね。土木遺構としての文化財が提議ですね。

亀山委員長

その他何かありますでしょうか。

(4) その他

伊東委員
高木主事(学芸員)

玉川上水の橋の水道管の色について苦情とかきませんか。

特にはありません。

伊東委員

いずれ考えた方がよいと思うのです。段々と目立ってくると思います。我々、隅田川の橋のデザインも関わっているのですが、色彩を考えると、水道管や電話管などの色についても、交渉すると、ガス管なども色を変えてくれるのです。場合によっては、そのようなことを考えてもいいと思います。将来のことも、段々良くしていった方がよいですから。

亀山委員長

どんどん綺麗になりますね。是非頭に入れておいてください。

きっとすごい名所になると思うのですよね。小金井の桜も。

椎名委員

水道局用地に植えたことで、遊歩道部分がとれますから、緑道としての価値は上がると思います。

新しい計画も含めて、市の中で新しく植えるのは何本くらいですか。

高木主事(学芸員)

3年計画で44本です。小金井市としては毎年約15本づつくらいです。

亀山委員長

これまでも160本ほど植えたのではないですか。

小金井市域内での達成度はどのくらいですか。何%くらいですか。

高木主事(学芸員)

区間でいうと3分の1です。今回の3年計画で半分以上となります。

椎名委員

今年で15本 既存のものを含むと175本ですね。これで3分の1、そうすると、歴史に残りますよ。歴史的事業ですよ。

2 次回以降の会議日程

亀山委員長

それでは、この日程の予定とします。

第1回 平成30年 4月 6日(金) 午前10時～

第2回 平成30年10月12日(金) 午前10時～

第3回 平成31年 2月15日(金) 午前10時～